



- ◎ (教育基本法) 【人格の完成・平和民主国家形成者・心身の健康】
- ◎ (新学習指導要領) 【生きる力をはぐくむ・確かな学力の確立】
- ◎ (静岡県) 【『有徳の人』づくり・よりよい自分をつくっていくために】
- ◎ (伊豆の国市) 【『人を大切にできるひと』『ふるさとを誇れる人』『世界に羽ばたくひと』】

校訓『正直・親切・勤勉』

《長岡中学校教育目標》

知・徳・体バランスのとれた生徒の育成

Plan

『長中魂』

《平成28年度重点目標》

『田方一』

知 (学力向上)

徳 (高め合う仲間)

体 (体力向上)

Action

聞く態度の育成

規範意識の向上

規則正しい生活の習慣化

わかる喜びを味わわせる

自尊感情の深化

忍耐力の向上

《充実感や達成感(目標を持つ)》《集団生活力・社会生活力》《あいさつ・聞く態度・マナー》

数値目標：学校評価アンケートで重点目標に関する肯定的回答 90%以上を目指す

評価の流れ

- ① 1学期終了時学校評価アンケート実施
- ② 改善策検討・2学期実践
- ③ 2学期終了時学校評価アンケート実施
- ④ 本年度の評価と次年度の教育課程編成に生かす

- 学校評価者委員会実施
- HP での情報公開
- 学校便りで保護者報告

Check

重点目標達成の手立て(学校経営目標・目指す教師像)

1 授業改善 ※授業を大切に←OJT

『一人一人にわかる喜びや達成感を持たせ、授業での居場所を作る』『研究授業・授業公開』

2 親身になる・常に人権感覚を持ち子どもに人としての生き方を教える ※親身に関わる

『日々の指導で、教師の親身に関わる姿勢を示し、子どもに生き方を教える』

『親身に関わるために、常に声かけを意識する。感情的に怒る指導でなく、生徒の気持ちをじっくり聞き、諭す指導を心掛け、子どもが相談しやすい環境を作る』←子どもを多面的に見る

『道徳やクラス活動を通じ思いやりの心を高めるよう、子どもの良い点を見る』

3 安全指導と施設管理

『危機対応マニュアルの作成と訓練実施』『安全のための施設管理徹底に努める』

4 教育課程の工夫

『行事の精選、会議・事務量を減らし、子どもと過ごす時間確保や教職員の

気持ちのゆとりのために、仕事や教育課程の能率化・効率化に取り組む』

5 思いやりを持ち、助け合い協調・協力しあえる職員集団 ※助け合う

『チーム長岡の意識を持ち、組織で動く、報告・連絡・相談(ホウレンソウ)を忘れない』

『思いやりの心を持ち、互いに助け合い協調・協力できる職員集団を目指す』

6 地域・家庭との連携

『日々の地道な連携、連絡活動が大切であることを忘れない』

『地域や保護者の力を活用する』

Do

人権感覚